

## アメリカ・カナダの公共図書館におけるセクシュアルマイノリティに対するサービス

石関 莉奈

アメリカでは同性婚を合法化する自治体がある一方で、同性愛差別法を持つ自治体などいまだ差別の残る地域が存在している。公共図書館では多様な文化背景を持つ利用者へのサービスの一つとして利用者の性的志向を考慮し、セクシュアルマイノリティに対する資料収集やプログラムが行われている。

アメリカとカナダでは、セクシュアルマイノリティの図書館における情報ニーズやレファレンスサービスについての先行研究がなされている。しかしながら日本においては、そうしたサービスに関する研究がほとんど行われていない。そこで本研究では、アメリカとカナダの公共図書館で行われているセクシュアルマイノリティに対するサービスを研究テーマとして取り上げる。実際に行われているプログラムや資料収集、ブックリストなどの情報サービスを調査し、その結果からセクシュアルマイノリティに関わる公共図書館サービスの実態について明らかにする。

本研究では、アメリカとカナダの公共図書館 14 館におけるセクシュアルマイノリティに関するサービスを対象とする。文献調査とウェブサイト調査を通じて、現在行われているセクシュアルマイノリティを対象としたサービスやプログラムについて把握した。次いで、図書館員へのインタビュー調査を通して、アメリカの公共図書館におけるセクシュアルマイノリティに対するサービスの詳細やサービスに対する利用者からの反応を明らかにした。

調査の結果、セクシュアルマイノリティに関するコレクションの形成や関連する情報源の紹介などの情報サービス、パネルディスカッションや展示会などのプログラムが行われていることが分かった。また、利用者からは好意的な反応が多いことが明らかになった。

アメリカとカナダの公共図書館では、トランスジェンダーやバイセクシュアル、セクシュアルマイノリティのコミュニティの主流から外れた人々に対するコレクションやプログラムを発展させていくこと、セクシュアルマイノリティの情報に精通した図書館員の育成が今後の課題である。特に、異なるグループ間の交流を生み出すようなプログラムや図書館司書資格取得のためのカリキュラムへの性的マイノリティサービスに関するトピックの導入などが求められる。このような取り組みが、セクシュアルマイノリティへの理解や図書館における安全な空間の確保につながると結論付けた。

本研究では、訪問調査を行っていない。そのため実際には本研究で取り上げたよりも多様なサービスが行われている可能性がある。プログラム参加者の反応や実施状況など、訪問することで得られる内容についてのさらなる調査が必要である。アメリカやカナダとは社会的背景や文化的背景が異なる日本の公共図書館においては、セクシュアルマイノリティの適切な理解を進めるようなプログラムから始めることが望ましい。

(指導教員 吉田右子)